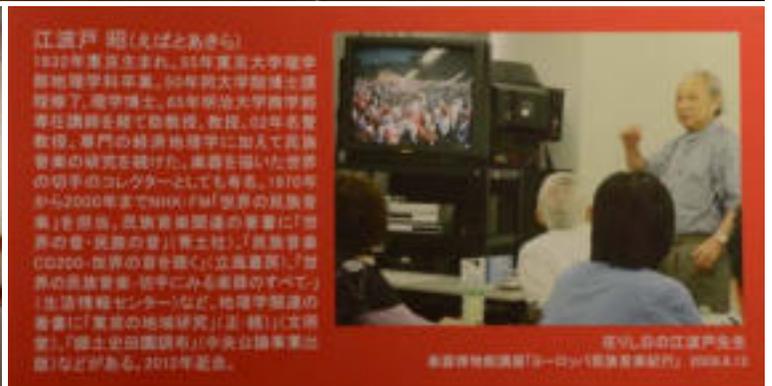




切手に見る楽器たち・江波戸昭コレクション展終了



5月3日(土)より開催されていましたが、明治大学名誉教授江波戸昭氏(1932～2012)の切手コレクション展が6月1日(日)に終了しました。江波戸氏は、専門の経済地理学者としての研究の傍ら、世界の民族音楽の研究に勤しみ、レコード・CDの解説やラジオ・テレビへの出演等で、音楽を愛する人びとからも慕われました。氏はまた楽器や舞踊や音楽をデザインした切手の世界的コレクターでもあり、収集された世界の切手はおよそ33,000枚とされています。

明治大学退官後は、明治大学リバティアカデミーを始めとする社会人教育に尽力され、浜松市楽器博物館でも2009年より民族音楽紀行と題した講座のシリーズを持っていただきました。しかし、数年前より体調を崩され、社会教育への志半ばにして、2012年4月10日に、ついに帰らぬ人となりました。

生前より「切手コレクションは将来は楽器博物館に寄贈したい。」と申されていたため、一周忌を終えた2013年12月に、故人の遺志に従い、コレクションはご遺族から楽器博物館に寄贈されました。切手の

整理にはこれから膨大な時間を要しますが、少しでも早く一般公開するために、今回の企画展を開催したものです。

展示された切手は極一部の1,100枚ほどですが、これらの切手には、今ではもう使われることがなくなってしまう楽器も数多く描かれていることや、楽器のみならず演奏している様子も描かれていますので、楽器文化を語る上で、極めて貴重な資料です。

世界の国が、楽器や舞踊や音楽に対して、いかに敬意を払っているかを、この切手を通じて感じることができます。

切手はたいへん小さいので、顔を近づけて見ないと細かいところがわかりませんから、何枚かの切手は大きく引き伸ばしてパネルにしました。こうしてみるとなかなか素晴らしい芸術作品です。小さな切手ですが大きな世界が広がっていました。

期間中8,693人の方が訪れられ、熱心に見学されていました。なおこの切手は、今後も地下の展示室にコーナーを設けて、随時展示していく予定です。

レクチャーコンサート No.160 「伝統から現代へ～フラメンコギター」



フラメンコギターの鈴木尚さん、金田豊さん、パーカッションの容昌さんをお迎えしてレクチャーコンサートを開催しました。

フラメンコはスペインの伝統芸能です。18世紀後半、迫害と苦難を受けたジプシー達が、その想いを唄に込めたのが始まりといわれています。その唄にもともとスペインにあったギターが寄り添うようになります。このように伴奏楽器として始まったフラメンコギターは、今では唄や踊りの伴奏、さらには独奏でも演奏されるようになりました。今回のコンサートでは、鈴木さんの独奏をはじめ、フラメンコギターとパーカッションのセッションが披露されました。フラメンコのイメージ通り「情熱」を感じる

曲や、5月のさわやかな風を想像させる「グアヒーラ」、アラブ音楽に影響されたイスラムの文化が薫る「ダンス・モーラ」など、様々な角度から魅力たっぷりの演奏を聴かせて頂きました。「ビダリータ」というアルゼンチンの民謡をフラメンコにした曲を、アンコールで演奏する時の「即興で遊んで終わります。」との鈴木さんの一言に、フラメンコの魅力が凝縮されていました。その場で生まれるサウンドや臨場感溢れるステージに、音楽の醍醐味を感じられたコンサートでした。

日 時：平成 26 年 5 月 14 日（水） 19:00～20:30
会 場：楽器博物館天空ホール
出 演：鈴木尚、金田豊、容昌 入場者：129 人

レクチャーコンサート No.161 「京・響・雅 柳川三味線」



日 時：平成 26 年 5 月 24 日（土） 14:00～16:00
会 場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール
出 演：林美音子、林美恵子 入場者：79 人

京都より林美音子さんと林美恵子さんをお迎えし、「柳川三味線」の歴史と演奏を紹介しました。お二人は京都で柳川三味線の伝統を受け継ぎ、伝承に尽力されています。

三味線の種類は大きく分けて3種類、細棹、中棹、太棹と棹の太さで分けられます。柳川三味線は細棹のなかでもさらに細い極細の棹でできた三味線です。その歴史は16世紀に京都、大阪で柳川検校が始めたときから、今では京都でしか使われていません。「七福神」、「都十二月」といった古典曲から「さらし」という古典曲を編曲した現代曲まで、充実した演目でした。演奏の合間には三味線や曲目についての紹介がありました。とくに柳川三味線と現代一般的に使われてる三味線の違いでは、棹の太さやバチの大きさ、演奏の仕方、音色、などの比較説明があり、同じ三味線とは思えないほどの違いに、お客様からも驚きの声があがりました。柳川三味線は見た目は華奢ですが、とても響きのある音色で、音量がさほど大きくないのに遠くまでよく音が聞こえるということで「遠音がする」という表現をするそうです。現代社会では日本人でありながら日本の伝統文化に触れる機会はとても少ないのですが、今日まで伝承されてきた文化を知る貴重な時間となりました。

ミュージアムサロン 今年のGW は世界の弦楽器を紹介！！

中国の楽器 ～中阮～

3日は中国の弦楽器「中阮（ちゅうげん / トウンルワン）」のコンサートを開催しました。演奏はタン・ソク・ティエンさん。阮という楽器は大、中、小のサイズがあり、そのうちの中くらいのサイズの楽器のことを「中阮」といいます。小さなピックで金属の弦をはじいて音を出します。シルクロードをラクダが旅する風景をイメージした曲やナポリ民謡の「オーソレミオ」といった日本人でも知っている曲など数曲を演奏してくださいました。少しの間ですが、異国の雰囲気会場に漂いました。



日時：平成26年5月3日（土）13:30、15:00（各30分程度）
会場：楽器博物館天空ホール
出演：タン・ソク・ティエン 入場者：117人



日時：平成26年5月4日（日）13:30、15:00（各30分程度）
会場：楽器博物館天空ホール
出演：長島忠之、パブロ・テロネス、桜井壮憲 入場者：147人

南米の楽器

～アルパ、チャランゴ、ギタロン～

4日は南米の楽器「アルパ、チャランゴ、ギタロン」のコンサートを開催しました。アルパを長島忠之さん、チャランゴとギターをパブロ・テロネスさん、ギタロンを桜井壮憲さんが演奏しました。アルパの代表曲「滝（CASCADA）」など数曲を演奏して頂きました。アルパはスペイン語で「ハーブ」、ギタロンはスペイン語で「大きなギター」という意味です。チャランゴの胴体は伝統的にはアルマジロの甲羅なのですが、今回は木製のものを使用しました。まるで南米をゆったりと旅しているような気持ちになる音楽でした。

アフリカの楽器 ～ムビラ&コラ～

5日はアフリカの楽器「ムビラ」と「コラ」を三木まさよさんに演奏していただきました。「ムビラ」は指で金属片をはじく楽器で、「親指ピアノ」という楽器のひとつです。「コラ」は弦楽器で、20数本の弦が左右に分かれて張っており、胴体には大きなひょうたんが使われ美しい装飾が施されています。ギターなどとは違い、演奏者が弦と向かい合うように持って演奏するのが特徴で、お客様もその持ち方に驚かれていました。優しく美しい演奏で天空ホールが静かな癒しの音楽に包まれました。

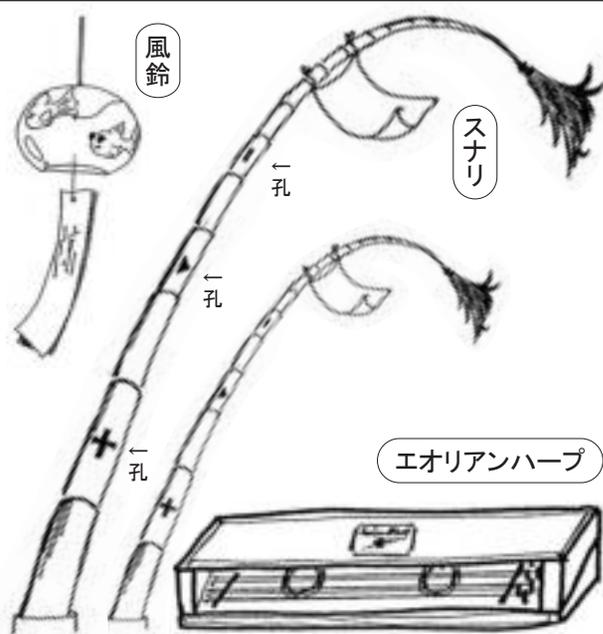


日時：平成26年5月5日（月）13:30、15:00（各30分程度）
会場：楽器博物館天空ホール
出演：三木まさよ 入場者：210人



楽器ワンポイント講座 その2

「風が鳴らす楽器」



楽器は普通、人が演奏するものですが、人が演奏しない楽器もあるのです。例えば、インドネシアの「スナリ」、ヨーロッパの「エオリアンハーブ」、日本の「風鈴」などで、自然の『風』の力で演奏します。

スナリは1本の竹に何箇所か孔を開けて、祭礼の場所を取り囲むようにして何本か地面に突き立てます。孔に風があたると音がします。たくさんの人でハミングするような音が上空から鳴り響くそうです。エオリアンハーブは木の箱に弦が張られていて、窓際に置きます。風が吹くと弦が振動して音がします。風の強い日に電線が「ブーン」と鳴るのと同じ仕組みです。そして、日本の風鈴は皆さんご存知のようにガラスや金属でできていて、軒先に吊るします。風が吹くと短冊がゆれて「チリチリーン」と涼やかな音が出るのです。

自然が鳴らすものですので、不規則なタイミングで鳴ります。また、音量も大きくないので静かな環境で耳にすると、そっと心に触れるような感じがします。風も立派な演奏者なんですね。

博物館日誌

- 5/3 (土) ~ 6/1 (日)
企画展「切手に見る楽器たち〜江波戸昭コレクション展〜」
入場者：8,693人
- 5/3 (土) ミュージアムサロン「中阮」
13:30、15:00 天空ホール
出演：タン・ソク・ティエン
入場者：117人
- 5/4 (日) ミュージアムサロン
「アルパ、チャランゴ、ギターロン」
13:30、15:00 天空ホール
出演：長島忠之、パブロ・テロネス、桜井壮憲
入場者：147人
- 5/5 (月) ミュージアムサロン「ムビラ&コラ」
13:30、15:00 天空ホール
出演：三木まさよ
入場者：210人
- 5/14 (水) レクチャーコンサート
「伝統から現代へ〜フラメンコギター〜」
19:00 天空ホール
出演：鈴木尚、金田豊、容昌
入場者：129人
- 5/24 (土) レクチャーコンサート
「京・響・雅〜柳川三味線〜」
14:00 音楽工房ホール
出演：林美音子、林美恵子
入場者：79人

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- ギャラリートーク 毎日数回
展示品の解説を行います
- 特別展 バグパイプ博覧会パート2
「風に歌う、風に響く〜バグパイプの世界〜」
8/2 (土) ~ 8/31 (日)
- レクチャーコンサート
「テグム散調〜韓国古典音楽の粋〜」
6/6 (金) 19:00 天空ホール
出演：キムヒョンミン、リチャンソプ、パクソニョン
「ブルーグラス・プライド〜アメリカ音楽のルーツ〜」
6/18 (水) 19:00 天空ホール
出演：イースト・テネシー州立大学ブルーグラスバンド
「21世紀の新地平〜ピッコロヴァイオリン〜」
6/25 (水) 19:00 天空ホール
出演：古館由佳子、ユーリー・コジェバートフ
川島佳子 (お話)
「クリシュナの笛〜バーンスリー〜」
7/5 (土) 18:00 天空ホール 出演：中川博志、中尾幸介
- イブニングサロンコンサート
「アフリカの魂・パラフォン」
8/4 (月) 19:00 天空ホール 出演：ムッサ・ヘマ
「バグパイプの世界」パート1
8/8 (金) 19:00 天空ホール
出演：近藤治夫、山根篤ほか
「バグパイプの世界」パート2
8/9 (土) 18:00 天空ホール
出演：近藤治夫、山根篤ほか
- ワークショップ
「韓国の太鼓 チャンゴを演奏しよう！」
7/26 (土) 18:30 ~ 21:00 研修交流センター
講師：リチャンソプ
「雅楽の楽器 ひちりきを吹こう」
7/27 (日) 13:30 ~ 15:00 研修交流センター
講師：中村仁美

浜松市楽器博物館だより

平成26年6月1日発行 No. 89
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL <http://www.gakkihaku.jp/>